



## 「お金の大切さ」について考える

校長 星野 典靖

充実した2学期も残すところ約4週間となりました。保護者、地域の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、また様々なご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、年末・年始は多くの小学校でお金のトラブルが増加する傾向があります。子供にとっては大金と思われるお金をもって遊びに出かけたり、家族や親戚の人に買ってもらった大事な物を気軽に友達にあげてしまったり、児童同士で「おごる、おごられる」といったりする事案も報告されています。

お金に関する様々なトラブルを回避する上で小学生のときに望ましい金銭感覚を育むことが大切です。その第一歩が、「お金の大切さ」について子供にしっかりと教え、理解させることです。

### 1 お金は、親（保護者）が一生懸命働いてもらったものだと教える

子供はお金がいつもあるものだと思っている気がします。しかし、実際は親（保護者）が働いた代価としてお金をもらっているのです。それを子供にしっかりと教える必要があります。

子供に何か買い与えるとき、「お金は、親（保護者）ががんばってお仕事しているから買い物ができるんだよ」と伝えてみるのも一つの方法です。また、親（保護者）の月給が30万円だとします。これを先ほどのように1円玉の重さに置き換えると、1円玉は30万枚になり、重さは300kgにもなります。これは2Lのペットボトル150本分です。子供はきっとびっくりするのではないかでしょうか。

### 2 お金がないとどうなるかを教える

「お金を使いすぎると買いたい物が買えなくなる」「お金ないと洋服もご飯も買えない」など、生活そのものが成り立たないことを伝えることが大事です。

### 3 家庭でお金について話題にして教える

スーパーなどで買い物をするときにお子さんを連れていくことも意義があります。親（保護者）が色々と考え、工夫しながら買い物をしているところを見せることが学びになります。また、お手伝いをしてくれたら少ないお金をあげると、お金稼ぐことがどういうことが体験できますし、お金を少ししかもらえないことでお金を稼ぐことの大変さを実感できると思います。

### 4 本当に必要な物かどうか子供自身に考えさせる

子供は何でも欲しがる特性があります。だからこそ、買いたい物が「本当に必要」なのか、「ただ欲しいだけ」なのかについて子供自身にちゃんと考えさせることが大事です。それが本当に必要ではなく「ただ欲しいだけ」なのだとしたら、お誕生日等の特別な日に買うようにするのも一つの方法です。

### 5 子供に分かりやすい例えをして教える

子供に金額を示してもなかなか理解するのは難しいです。子供が実感できる例を挙げて伝えるとより理解ができると思います。

例えば、10000円を重さに置き換えてみましょう。10000円は1円玉が10000枚です。1円玉1枚は1gなので、計算すると10000円は10000g = 10kgとなります。これは2Lのペットボトル5本分の重さです。

これを実際に持つてみると、より実感を伴ってお金の価値の重さを感じ取れるのではないかでしょうか。

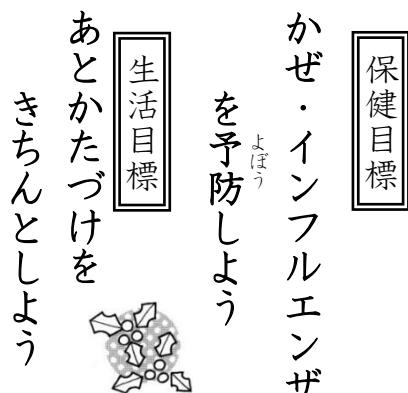
お金の大切さを教えることは、親（保護者）・教師など身近にいる大人の役割です。小さいときからお金の大切さをしっかりと教えてあげないと大きくなつてからではなかなか治すことができません。目の前の子供が「金遣いの荒い大人」「無駄遣いが多い大人」「借金ばかりする大人」等にならないよう、小学生のうちからお金の大切さについてしっかりと教えていくことが大切です。ご理解とご協力のほどよろしくお願ひいたします。

# 《 12月・1月中旬までの行事予定と下校時刻 》

日	曜	行 事 予 定	校時(下校予定時刻)					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	月	全校朝会 トヨタ出前授業(5) 特別支援教育合同学習発表会リハーサル(ふ)	5	5	5	6	6	6
2	火	特時 議会傍聴(6)	5	5	6	6	6	6
3	水	特時 特別支援教育合同学習発表会(ふ) ※ふたばはお弁当	4	4	4	4	4	4
4	木	特時 保護者会(2、3、ふ) 宿泊前健診(ふ)	5	5	5	5	6	6
5	金	特時 保護者会(1、5)	4	5	6	6	6	6
6	土	親子ふれあいスポーツデー						
7	日							
8	月	安全指導	5	5	5	6	6	6
9	火	小中連携の日【部活動体験】(6) ホッとルーム面談始	5	5	6	6	6	6
10	水	特時 保護者会(4、6、わ) 宿泊体験教室(ふ)①	5	5	5	5	5	5
11	木	持久走旬間終宿泊体験教室(ふ)②	5	5	5	5	6	6
12	金	集会活動	4	5	6	6	6	6
13	土	土曜日補習教室 16ブロック防災訓練						
14	日							
15	月	道徳朝会「公正・公平」たてわり遊び	5	5	5	6	6	6
16	火	ホッとルーム指導終	5	5	6	6	6	6
17	水	特時 地域清掃(1・3・5・わ) 凧販売13:45~14:15	5	5	5	5	5	5
18	木	特時 委員会活動	5	5	5	5	6	6
19	金	集会活動	4	5	6	6	6	6
20	土							
21	日							
22	月	特時	5	5	5	6	6	6
23	火	特時 ホッとルーム巡回・面談終	5	5	5	5	6	6
24	水	特時 給食終	5	5	5	5	5	5
25	木	特時 終業式 大掃除	4	4	4	4	4	4
26	金	冬季休業日始						
27	土	学校閉庁日						
28	日							
29	月							
30	火							
31	水							
1/1	木	元 旦						
2	金							
3	土							
4	日	学校閉庁日						
5	月							
6	火							
7	水	冬季休業日終						
8	木	特時 始業式 安全点検	4	4	4	4	4	4
9	金	給食始 身体測定(3)(4) 安全指導	4	5	6	6	6	6
10	土							
11	日							
12	月	成人の日						
13	火	身体測定(5)(6)(ふ) ホッとルーム指導始	5	5	6	6	6	6
14	水	特時 身体測定(1)(2)(わ)	5	5	5	5	5	5
15	木	特時 クラブ活動	5	5	5	6	6	6
16	金	なわとび集会	4	5	6	6	6	6

※ふたば・わかば学級の下校時刻は「学級だより」をご参照ください。

## 12月の目標



## 【下校予定時刻】

### ①通常

4校時	…	13:15
5校時	…	14:35
6校時	…	15:25

### ②水曜日・特別時程

4校時	…	13:05
5校時	…	14:00
6校時	…	14:50

### ③クラブ活動のある日

6校時	…	15:15
-----	---	-------

### ④委員会活動のある日

6校時	…	15:00
-----	---	-------

### ⑤給食なし特別時程

4校時	…	12:15
-----	---	-------

## ～学校閉庁日～

12月27(土)～1月4日(日)

冬季休業中のこの期間と  
土・日・祝日は、教職員の出勤  
はありません。緊急な連絡  
がある場合は、昭島市役所に  
ご連絡ください。

昭島市役所(代表)  
042-544-5111

\*\*\*\*\*  
12/26、1/5・6・7については、  
教職員が出勤しています。  
連絡等がある場合は、下記の  
時間帯にお願いします。

8:15～16:45

田中小学校(代表)  
042-543-1511

## 地域親子図書館開館予定日

12月…2日、4日、9日、11日、16日、18日、23日

※2学期は12月23日(火)までとなります。新年度は1月13日(火)からを予定しています。

## 12月3日(水)の時程変更について

この日は特別時程ではありますが、12:40に下校いたします。いつもの特別時程よりも下校時刻が早くなっていますので、ご確認ください。

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果について

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

■ 調査期日：令和7年4月17日(木) ■ 調査の対象学年：小学校6年生児童

### ■ 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査(国語、算数、理科)

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

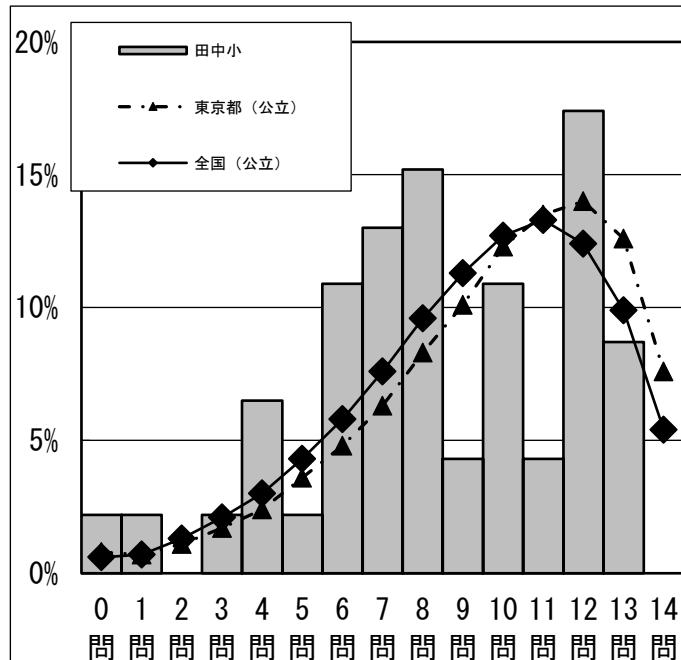
#### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査  (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的教育条件の整備の状況等に関する調査  (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

### ■ 調査結果

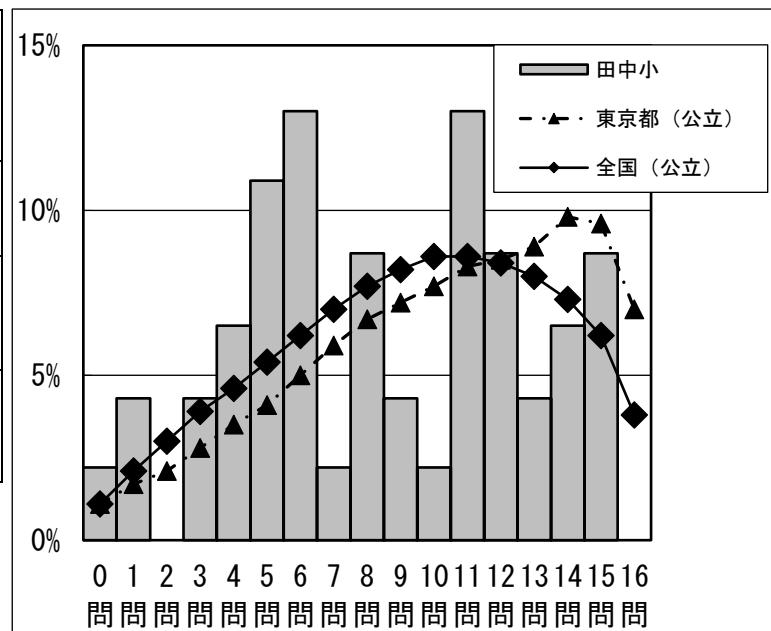
#### 1 国語

	児童数(人)	平均正答数(問)	平均正答率(%)
田中小	46	8.7 / 14	62.0
東京都	93,881	9.8 / 14	70.0
全国	936,137	9.5 / 14	66.8



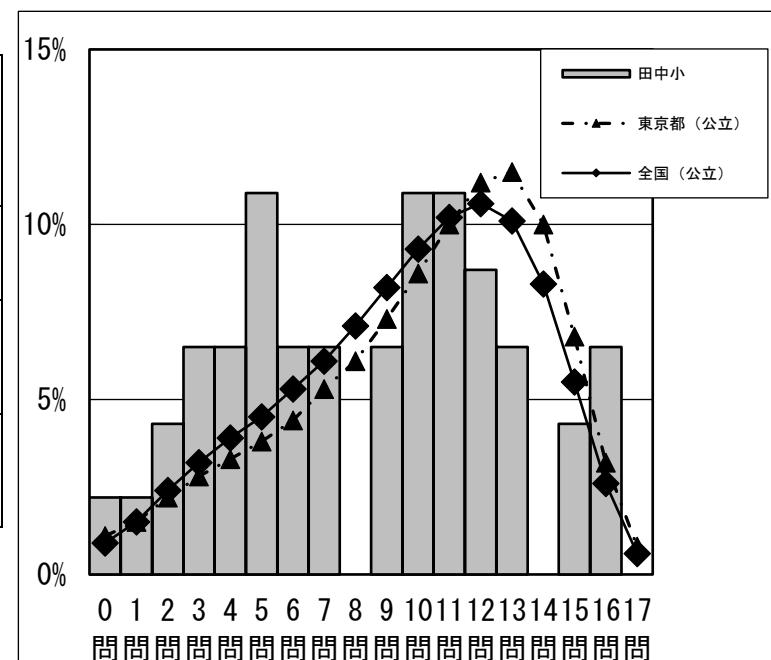
## 2 算数

	児童数 (人)	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)
田中小	46	8.5 / 16	53.0
東京都	93,933	10.2 / 16	64.0
全 国	936,399	9.3 / 16	58.0



## 3 理科

	児童数 (人)	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)
田中小	46	8.4 / 17	49.0
東京都	93,968	10.1 / 17	60.0
全 国	936,399	9.7 / 17	57.1



## 児童のSNSによるトラブルを回避するために

本校で、SNS上での誹謗中傷の事案が今年度も発生しました。関係児童へは何がいけなかったのかしっかりと考え方をするとともに、今後のSNSの使い方等について指導しています。

児童にスマートフォン等を持たせることは大きなリスクが伴います。スマートフォン等のSNS端末を児童に持たせる場合は、各ご家庭で児童の使用状況を把握するとともに、加害・被害状況がないことをご確認いただきますようお願ひいたします。

SNSでの誹謗中傷は楽しかったり、面白かったりする遊び感覚から始まり、相手を傷付けたという自覚がないままエスカレートする傾向があります。そして、安易な気持ちで発信した後に事が露見して、それを指摘されたり、叱られたりして自覚することが多いようです。

お子様にスマートフォン等のSNS機器を持たせる際は、ご家庭でSNSのリスクについてご確認いただくとともに、お子様への声掛けを継続的に行い、問題の未然防止に努めていただきたくお願いいたします。